

付属資料一 4
協議議事録

付属資料一 4 協議議事録

4-1 協議議事録(現地調査時)

中華人民共和国ウルムチ市水磨溝温泉療養院機材整備計画
基本設計調査にかかる協議議事録

中華人民共和国ウルムチ市水磨溝温泉療養院機材整備計画(以下「本計画」という。)にかかる中華人民共和国政府よりの無償資金協力要請に基づき、日本国政府は、本計画に関する基本設計調査の実施を決定し、国際協力事業団(JICA)は、国立塩原温泉病院副院長 富田 勳 を団長とする調査団を1987年9月7日から9月27日まで中華人民共和国に派遣した。

調査団は、中華人民共和国新疆ウイグル自治区ウルムチ市副市長 張 建民 を団長とする中国側代表団と友好的な雰囲気のもと、双方の立場を尊重しつつ協議を重ねた。

本議事録は、これらの結果を別紙の通りとりまとめ、署名により確認するものである。

1987年9月17日

於 ウルムチ市

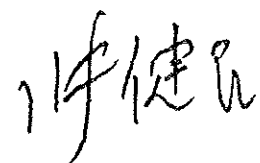
日本国国際協力事業団
ウルムチ市水磨溝温泉療養院機材整備計画
基本設計調査団長

中華人民共和国
新疆ウイグル自治区
ウルムチ市副市長

富田 勳



張 建民



(1)水磨溝温泉療養院の拡充整備計画の機能及び性格については、1987年2月28日中華人民共和国新疆ウイグル自治区ウルムチ市において日本国国際協力事業団計画打ち合せ調査団団長吉田雅治氏と中華人民共和国新疆ウイグル自治区ウルムチ市副市長張建民氏との間で確認署名された「会谈記録」の内容に変更がないことを双方確認した。

(2)本計画の実施に関係する中国側の機関は以下の通りである。

①本計画の財政面に関する中国側の最高意思決定機関は、新疆ウイグル自治区人民政府である。

②本計画の実施主体は、中華人民共和国新疆ウイグル自治区ウルムチ市である。

③本水磨溝温泉療養院は、中国の国家予算と国内外の援助により建設される国立の施設であり、コンサルタントとの契約者は、ウルムチ市水磨溝温泉療養院である。

④本療養院は、中華人民共和国新疆ウイグル自治区人民政府及びウルムチ市人民政府の行政的支持と指導並びにウルムチ市衛生局の業務的指導のもとに運営される。

(3)1988年10月までに機材据付け可能な状態に建築を進行させる。

(4)本計画の建築設計者は、ウルムチ市建築設計院である。

(5)本計画の建築施工者は、ウルムチ市建築公司である。

(6)本計画の国外援助部分の資機材調達窓口は、中国医薬保健品進出総公司新疆分公司である。

(7)中国側は、本件計画を実施するにあたり、別添資料-1の機材について、日本政府の無償資金協力による援助を要請した。

(8)日中双方は、下記の機材選定方針に合意した。

①温泉を活用したリハビリテーション。

②高度な診断機材（たとえば、血管造影X線診断装置）は、原則として対象としない。

③診断・治療は多岐に及ぶが、救急・重傷患者の治療は、原則として他の総合病院に移

送して行う。

④同一の機能を有する機材は、その台数を絞る。

(9)上記(8)の中国側の要請項目及び内容に関しては、中国側の要望と日本側の提案を踏まえて進められた今般の協議の結果、日中双方の理解が基本的に一致した。

但し、①機材の品目別数量については、今般の調査と協議を踏まえた今後の解析により、中日双方の協議のもとに決定されるものとする。

②温泉川配管の供与については、中国側が、国際協力事業団在北京事務所に、1987年10月8日までに配管計画平面図を提出することを供与の条件とする。

(10)調査団は、双方理解の一致した上記(8)の中国側の要請内容を帰国後日本政府に伝えることを約した。

(11)本計画の実施にあたって、中国側が措置する事項は、以下の通りである。

①本計画に基づいて提供される資機材の水磨溝温泉療養院への搬入に支障のないよう、中国側が行う部分の工事を進行又は完成させること。

②機材の据付条件に十分配慮した建物及び設備とすること。

③本計画のために輸入される資機材について、陸揚げ及び通関並びに中国国内の輸送が速やかに行われることを確保すること。

④日本国民による本計画に基づく資機材及び役務の供与に関し、中華人民共和国において課せられる関税、内国税及びその他の財政課徴金を免除もしくは負担すること。

⑤本計画の実施のための役務を供与^{する}日本国民に対し、中華人民共和国への入国及び滞在に必要な便宜を与えること。

⑥本計画の実施に必要とされる許可、免除及びその他の認可について、中華人民共和国の法律に則り、これを発給し又は許可すること。

⑦日本側負担以外の総ての経費を負担すること。

中华人民共和国新疆乌鲁木齐

齐市水磨沟疗养院器材配备计划

的基本设计调查协议备忘录

有关中华人民共和国乌鲁木齐齐市水磨沟温泉疗养院器材的配备计划。(以下简称本计划)日本国政府根据中华人民共和国政府提出的无偿资金援助申请,决定对本计划进行基本设计调查。特派遣国际协力事业团(JICA)以国立塩原温泉病院付院长富田勸为团长的调查团于1987年9月7日至9月27日为止对中华人民共和国进行考察。

调查团同以张健民为团长的中方代表团在友好的气氛下和在相互尊重双方立场的基础上进行了协议。

00215 • 836 /

本备忘录是把此次结果同其他附件一样进行整理后，签名确认。

一九八七年九月十七日 于乌鲁木齐

日本^国国际协力事业团 中华人民共和国新疆

乌鲁木齐市水磨沟区 维吾尔自治区乌鲁木齐

泉疗养院器材配备计划 乌鲁木齐市副市长

刘基本设计调查团团长

长

签名 李日新

签名 许健民

(1) 关于水磨沟温泉疗养院的扩建计划的职能以及性质，双方认为与一九八七年二月二十八日在新疆维吾尔自治区乌鲁木齐市由日本国国际协力事业团计划协商^{调查团}团长吉田雅治先生和中国新疆乌鲁木齐市副市长张健民所确认签署的会谈记录的内容没有变更之处。

(2) 本计划的实施有关的中方机关如下：

① 同本计划财政有关的中方最高决定机关新疆维吾尔自治区人民政府。

② 本计划的主体实施是中国新疆维吾尔自治区乌鲁木齐市。

③ 本水磨沟温泉疗养院是使用中国国内子标和由国内外的援助而建设的国定设施。与洽谈团缔约单位是乌鲁木齐市水磨沟温泉疗养院。

④ 本疗养院是在中国新疆维吾尔自治区人

00215 • 836 3

民政府及乌鲁木齐市人民政府从行政上给予支持和领导，以及在市卫生局的业务指导下进行营业。

(3) 到一九八八年十月底为止，要使建筑达到器材安装状态。

(4) 本计划的建筑设计是乌鲁木齐市建筑设计院。

(5) 本计划的建筑施工^{单位}是乌鲁木齐市建筑公司。

(6) 本计划的国外援助部分的器材的承办单位是中国医药保健品进出口总公司新疆分公司。

(7) 中方在本计划实施时，对于附件，资料——1中的器材向日本政府提出了无偿援助资金的申请。

(8) 中日双方对下述器材选定方外同意如下：

① 利用温泉^{康复}治疗。

② 原则上不以高精度的诊断器材（如血管

造影X线诊断装置)为对象。

③因诊断,治疗涉及到多方面,但原则上对急诊,重伤病患者的治疗,要转到其它综合医院。

④对具有同样功能的器材压缩其台数。

(9)关于上述第(8)项中方的申请项目以及内容。

根据中方的要求和日方提案的协商结果,中日双方理解基本一致。

但是,

①关于器材的种类和数量,要根据这次的调查结果和今后的分析,由中日双方协商决定。

②关于温泉用配管的提供,要以中方在1987年10月8日前向国际协力事业团驻北京事务所提出配管计划平面图为提供条件。

(10)调查团约定把双方一致理解的以上第(8)

項中的中方的申請內容，回國後轉達給日本政府。

(11) 在本計劃實施中，需中方負責的事項如下：

① 根據本計劃所提供的器材在運進溫泉療養院時，為了不受別影響和阻礙，中方要進行並要完成中方部分的工程。

② 建築物和設備要充分考慮器材的安裝條件。

③ 有關為本計劃所引進的器材，中方要協助上岸，報關和中國國內運輸，確保快速。

④ 有關根據本計劃所提供的設備器材以及日本國民所提供的服務，對於在中國所需要的關稅，國內稅以及其它財政稅金都應免除或中方負擔。

⑤ 對於為了實施本計劃而提供服務的日本

00215 • 836 6

国国民，在进入中国以及在中国逗留期间，应
给予必要的方便。

⑥ 有关对本计划的实施所需要的许可，免
除以及其它的批准，按中国法律，应发给或批
准。

⑦ 应负担日方负担经费以外的所有经费。

調査団の構成

- 1) 総括・振込所管理 富田 勲 国立塩原温泉病院副院長
- 2) 計画管理 辻岡 政 男 国際協力事業団無償資金協力計画調査部
基本設計第1課課長代理
- 3) 医療機材整備計画 菱谷 真 里 厚生省大臣官房国際課課長補佐
- 4) 医療システム計画 常 富 一 雄 伊藤喜三郎建築研究所
- 5) 医療機材計画 桜井 郁 也 伊藤喜三郎建築研究所
- 6) 設備計画 奥井 正 雄 伊藤喜三郎建築研究所
- 7) 通 訳 江渡 文 武 伊藤喜三郎建築研究所

中方代表团

团长:	陈西夫	自治区党委组织部 开发温泉疗养院领导小组副组长
付团长:	李献德	乌鲁木齐市付书记 开发温泉疗养院领导小组付组长
"	张健民	乌鲁木齐市人民政府常务付市长 开发温泉疗养院领导小组付组长
"	熊中霞	乌鲁木齐市水磨沟温泉疗养院筹建处主任
顾问:	王菊人	中国肢体伤残康复研究中心付总工程师
"	邵振华	" 医学工程处付处长
团员:	管涛	乌鲁木齐市建筑设计院付院长
"	曹克承	乌鲁木齐市药械局批发站器械科科长
"	刘希和	新疆自治区物资厅项目官员
"	王克林	"
"	周秋莲	乌鲁木齐市水磨沟温泉疗养院医务人员负责人
翻译:	宗德武	

00215 • 836

1-(1) 基本的合意機械					
機 械 名	機 械 番 号	備 考	機 械 名	機 械 番 号	備 考
I. 医療器械					
一般用X線撮影装置	1'		自動洗淨器	75	
遠隔操作式X線TVシステム	1	直線断層撮影機能付	皮膚血流計	228	
心臓断層超音波診断装置(27cm)	6	腹部用不-ダブル(モ/コ)	II. 電気・温熱治療器械		
腹部断層超音波診断装置(17cm)	7	心臓診断用(24使用(併用))	パルス刺激装置	104	
脳波計	20		干渉低周波治療器	106	
心電計 (1ch)	15		マイクロ波治療器	112	
心電計 (3ch)	16		マイクロ波治療器(併用)	111	
無線式心電図モニター	12		超音波治療器	115	
心臓除細動機(心電図付)	13		赤外線灯	121	
生化学自動分析装置	43	検査項目32・同時12項目	全波長太陽灯	120	
尿検査分析装置	74		低温太陽灯	122	
双眼顕微鏡	59		超短波治療装置	110	
位相差顕微鏡	60		冷凍治療機	145	
紫外顕微鏡	61		免疫前肉治療用カナル	119	
冷蔵庫	66		肩背蒸気治療装置(併用)	123	
分析用天秤 (1mg)	52		蒸気治療器用カタン	125	
分析用天秤 (0.1mg)	53		牽引用布製腫瘍器具	126	
細線灯	26		III. 調節高度位置変更可能 牽引器台		
高圧滅菌器	68		電動型面取牽引装置	150	3人用
強心-時間曲線測定計	28		VI. 各種測定機器		
誘発筋電計	21		体温負荷訓練器	193	
蒸留水製造装置	69	二次蒸留			
濃度比色計	58				
高速遠心機	54	4,000rpm			
全自動肺機能解析装置	17	呼吸機能検査装置			
オーブン(乾燥装置)	65				

機 械 名	機 械 番 号	備 考	機 械 名	機 械 番 号	備 考
IX. 水浴用機器			モルトル式步行訓練装置	164	
			姿勢矯正用三面鏡	165	
			漕艇練習器	166	
万能圧注器	95		舌肉筋輪転運動器	168	
電気四肢浴装置	96		股関節内外転運動器	169	
温熱治療器 (附属品)	134		大腿四頭筋訓練器	171	
温熱治療器 (附属品)	135	09 HE-1A 程度	電動式トッドミル	174	
温熱治療器 (附属品)	136	09 HF-1C 程度	肩関節輪転運動器	175	
温熱治療器 (附属品)	137	09 HF-1D 程度	前腕内外転運動器	176	
組立台 (温熱治療器用)	138		手関節屈伸運動装置	177	
電動油圧式運動浴用昇降装置	98		握力訓練器	178	
油圧式ストレッチャー	100	電動昇降式	手指筋力訓練器	179	
気泡浴装置 (全身用)	87		足関節訓練器	181	
気泡浴装置 (部分浴用)	86		滑車重錘運動器	188	
			不能関節運動力牽引器	189	
			訓練用ベッド	191	
			組立式フレーム	195	天井懸架式万能牽引訓練器
			赤行車 (柳99式-成用)	187	
			万能牽引桿	192	
			車椅子	196	
X. パラフィン浴装置					
			XII. 池の設備		
パラフィン浴装置 (下取用)	140				
パラフィン浴装置 (上取用)	141		便器洗浄器	212	
			椅子型便器	213	
XI. 体育治療器械			複写機	214	モクロ1台
訓練用自転車	156	油圧式モクロ710程度	マイクロバス	234	26人乗
自転車牽引訓練機	158	09 GH-1A 程度	マイクロバス	235	12人乗
自転車牽引訓練機	159	09 GH-1 程度	救急車	237	
肩腕挙上運動力梯子 (直型)	162		カメラ	229	
肩腕挙上運動力梯子 (曲型)	163		引きのぼし機	230	
電動上下式平行棒	160	電動式Y形			

モクロ 30-15 (05x02)

1-(2) 再検討機材
注) 機材番号は、1987年8月要請機材リスト番号である。

機材名	機材番号	備考	機材名	機材番号	備考
I. 医療器械					
各種測定装置			各種測定装置		
筋力運動訓練装置	5		筋力運動訓練装置	29	通井 CYBEX X 300 II 程度
長岡自覚心電図解析記録装置	8			30	CYBEX II+ COMPUTER SYSTEM
全自動血中ガス分析装置	18			31	M2D-220 CYBEX FEDECO SYSTEM
赤外線分光光度計	45	紫外線分光光度計に使用(1台)			
蛍光分光光度計	46		生物アードバッド装置		
歯科総合治療装置	24		生物アードバッド装置	142	記録計内蔵 OS, BF-102R 程度
耳鼻咽喉科治療装置	27		皮膚接触温度検出装置	143	
電子聴力計	49		筋電生物アードバッド装置	144	
夢症患者監視装置	11				
K, Na, Ca (Ca) 分析装置	56		IX. 水浴用装置		
Pamgon 酸素運動システム	57		バトリリーフォーム	80	
カラー赤外線熱像器	19		ハーバードタンク	81	
内視鏡 (胃)	22	2機	ハーバードタンク	79	
内視鏡	23	ビデオ=9-式 → 気管鏡鏡像	省力型特殊入浴装置	82	
尿導尿光度計	44				
液体クロマトグラフ	41				
II. 暖気温熱治療装置					
多型波診断治療器	103		XI. 体育医療装置		
マイクロ波治療器	113	腰部(大型)	電動式トッドリ	173	
	114	小この部位の治療用	起立訓練器(電動)	183	} 全体で最高3台を自給し且修理 } 料を規定する。
低周波治療装置	105	OS, EF-502 程度	(電動)	184	
	107	OS, GD-204 程度	足関節矯正器付腰部調整台	185	
	108	OS, GW-304 程度		186	
	109	OS, KR-2 程度			
YAG レーザ治療機					
CO ₂ レーザ	116		その他の材料	215	
アルコハンレーザ治療機	117		オートハンドプロシク	216	
局所熱気治療装置(電動)	118		スライドプロシク	217	
	124		ビデオ形式	218	
			カラー18インチTV受像機	220	
			マイクロコンピュータ	221	

4-2 協議議事録(ドラフトファイナルレポート説明調査時)

中華人民共和国ウルムチ市水磨溝温泉療養院機材整備計画

基本設計調査にかかる協議議事録

中華人民共和国ウルムチ市水磨溝温泉療養院機材整備計画(以下「本計画」という。)に関し、国際協力事業団(JICA)は、国立塩原温泉病院副院長 富田 勸氏を団長とする基本設計調査報告書草案説明調査団(以下「調査団」という。)を1987年12月11日から12月19日まで中華人民共和国に派遣した。

調査団は、中華人民共和国新疆ウイグル自治区ウルムチ市副市長 張 国文氏を団長とする中国側代表団に基本設計調査報告書草案を提出、説明し、友好的な雰囲気のもとに充分かつ率直な意見の交換を行なった。

その結果、日中双方は、別添の調査結果をそれぞれ自国政府に伝え、本計画の実現に向けて同調査結果を検討するよう勧告することを確認した。

この協議議事録は、双方代表の署名により確認されるものとする。

1987年12月17日

於：北京市

日本国国際協力事業団

ウルムチ市水磨溝温泉療養院機材整備計画

基本設計調査団長

富田 勸

富田 勸

中華人民共和国

新疆ウイグル自治区

ウルムチ市副市長

張 国文

張国文

別添

1. 中国側は、基本設計調査報告書草案の内容に基本的に同意した。
2. 日中双方は、1987年9月17日に署名された協議議事録を再確認した。
3. 中国側は、供与機材の維持管理体制と方法及びこれらに必要な経費について、報告書第6章に示される内容を了承し、これを確保する。
4. 日本側は、最終報告書（日本文、10部）を1988年2月中旬迄に中国側に提出する。
5. 中国側は、別添（1）の通り、本プロジェクトの最大効果の確保の為、優先順位を付した追加機材要請リストを提出した。
日本側は、これを尊重しつつ予算制約の範囲内で、可能であるか否かを検討し、最終案を作成する旨、回答した。
双方、これを同意した。

別添（1）追加機材要請リスト

（2）会議出席者名簿

別添(1)

追加機材要請リスト

1	高速遠心機	20,000rpm	1台
2	マイクロピペッター	(5ml×1, 10ml×1, 100ml×2, 250ml×2)	計6本
3	ポリグラフ		1台
4	自動現像機		1台
5	多現象モニター		1台
6	フィルム複写機		1台
7	超音波ネブライザー		2台
8	治療用ベッド		2台
9	カラーテレビ(モニター専用)		5台

中华人民共和国新疆乌鲁木齐
市水磨沟温泉疗养院器材配备计划
的基本设计调查协议议定书

中华人民共和国新疆乌鲁木齐市水磨沟温泉疗养院器材配备计划(以下简称「本计划」)国际协力事业团派遣了以国立塩原温泉病院付院长富田菫生为首的基本设计调查报告书草案说明调查团(以下简称「调查团」)于1987年12月19日对中华人民共和国进行了访问。

调查团向中华人民共和国新疆维吾尔自治区乌鲁木齐市付市长张国文先生为团长的中方代表团提交并说明了基本设计调查报告书草案,双方在友好的气氛下充分地交换了意见。

其结果中日双方确认把添附的调查结果,各自向

本国政府传达，为实现本计划并对该调查结果进行
研究，并尽快付诸实施。

本协议议定书由双方代表签署确认。

1987年12月17日

於北京市

日本国际协力事业

团乌鲁木齐市水磨沟

温泉疗养院器材配备

计划基本设计调查团

团 长

签名 高田 邦

中华人民共和国

新疆维吾尔自治区

乌鲁木齐市

副 市 长

签名 张明文

附件

1. 中方原则上同意了基本设计调查报告草案的内容。
 2. 中日双方对1987年9月17日签署的协议议定书进行了再次确认。
 3. 中方了解报告书第6条所示的有关提供器材的维持管理体制和方法以及对此所需费用的内容并对此确保。
 4. 日方将于1988年2月中旬以前把最终报告书(日文10份)提交给中方。
 5. 中方为确保该项目的最大效益按优先顺序提出追加器材申请清单,日方表示尊重中方建议并回答在预荷规定的范围内,研究其可能性作出最终方案。
- 双方对此表示同意。

附件一

1. 高速离心机 20000 RPM 一台
2. 加液器 (Micro pipetter) 5ul(x1), 10ul(x1), 100ul(x2)
250ul(x2) 六台
3. 多导生理记录仪 一台
4. 自动洗片机 一台
5. 床旁监护仪 一台
6. 翻相机 一台
7. 超声波雾化器 二台
8. 治疗用台 二台
9. E=9-カニ-TY 五台

別添（２）ドラフトファイナルレポート説明調査団

総括・療養所管理	富田 勸	国立塩原温泉病院副院長
計画管理	辻岡 政男	国際協力事業団無償資金協力計画調査部 基本設計第１課課長代理
医療システム計画	常富 一雄	伊藤喜三郎建築研究所
医療器材計画	桜井 郁也	伊藤喜三郎建築研究所
通 訳	江渡 文武	伊藤喜三郎建築研究所

附件二

中方代表团

团长：张国文，新疆乌鲁木齐市人民政府副市长

付团长：熊中霞，乌鲁木齐市磨沟温泉疗养院筹建处主任

团员：熊玮，中国经贸部项目官员

“ 邵振华，乌鲁木齐市磨沟温泉疗养院技术顾问

“ 郭风， “ ”

“ 刘希和 新疆经贸厅项目官员

“ 谢祖益 乌鲁木齐市磨沟温泉疗养院办公室主任

“ 朱德武 翻译

JICA